

第1学年2組 国語科学習指導案

指導者 嶋田 知成（ステップアップコース）
指導者 亀崎 敬史（パワーアップコース）

1 単元名 「話す・聞く1」 聞き上手になろう

2 単元の目標

- (1) 話し手の意図を考えながら、話の内容を的確に聞き取ろうとすることができる。
(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 話の中心となる話題や要点をおさえ、場面に応じた話し方や聞き方をすることができる。
(話すこと・聞くこと)
- (3) 聞き手の様子に合わせて、話す速さ、音量、間の取り方などを注意することができる。
(言語事項)

3 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校国語科「A話すこと・聞くこと」領域の学習である。指導事項の「考えや意図」の「ア自分の考え方や気持ちを相手に理解してもらえるように話したり、話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ったりすること」に重点が置かれている。なお、「話す・聞く1」では「場面に応じた聞く力を養う」ことをねらいとしている。耳から入る情報をなんとなく聞くのではなく、話し手が伝えたいことのポイントをおさえたり、必要な情報を聞き出したりする力を身につける。そのために、メモを取ることやインタビュー活動が取り入れられている。また、メモの取り方やインタビューといった言語活動を通して、他の教科や生活の様々な場面での応用が図れるよう基礎を培う重要な役割をしている。

(2) 生徒観

生徒の事前調査では、2009年の全国学力調査のA問題団を改題（聞き取り問題）として調査した。問題は先生の話とそれを友人に伝えるために書いたメモに関するものである。

実態調査（1年4組 38人 4月30日実施）

設問内容	正答者数
話の内容から、メモ（時刻）を答える。（記述式）	18人
話の内容に対して、適切な質問を答える。（選択）	22人

調査からは、話を聞いて情報を整理することを苦手としている生徒の実態がうかがえる。メモを答えることができない生徒の多くは、5W1Hの意識が低いことが分かる。話の内容に対して適切な質問を答えられない生徒は、話をなんとなく聞いており、話し手から必要な情報を聞き出そうとする意識が低いことが分かる。相手の話の要点をおさえ、自分の考えを表現することを苦手とする生徒の実態がうかがえる。

(3) 指導観

本単元は、「正しく聞く」ことをテーマとしている。まず、話の聞き方を生徒に考えさせ、復唱を行うことで、正確に聞き取る力を育成する。レストランのメニューを復唱する身近な聞き方から導入し、生徒の関心を高めたい。次に、話の話題や方向をとらえて、適切な情報を聞き出せるようインタビューの活動を行う。その際、メモを取りながら話を聞く。メモの取り方を身につけることで、ただ聞き取るのではなく、必要な情報を整理できるようにしたい。そして、電話連絡の場面を想定し、聞き取ったことを別の人伝えの活動に取り組む。5W1Hや箇条書きの方法を身につけることで、必要なことだけを整理できるようにしたい。聞くことは、ただ静かに聞いていればよいというものではない。聞き取った内容を話し手に確認したり、友人に伝える活動を通して、「話すこと」への意識を高めたい。つまり「話す・聞く1」では、話の内容を的確にとらえて、自分の考えを表現しようとする姿勢が大切である。さらに、毎時間、自己評価を取り入れることで、生徒が自己的学習を振り返り、達成感や充実感を味わえるようにしたい。

本単元では、「話すこと・聞くこと」に抵抗を感じる生徒が自信をもって活動ができるように、習熟度別少人数学習を取り入れることで、個への対応を図りたいと考える。実態調査やガイダンスをもとに、生徒自身にどちらかのコースを選択させるが、コースの途中変更は可とする。ステップアップコース（習熟度上位）は、様々な電話連絡の場面を想定したり、メモなしで話の要点を別の人へ正確に伝えるといった質の高い、内容の充実した活動ができるよう個別の助言を工夫したい。パワーアップコース（習熟度下位）は、なるべく人数を少なくし、「インタビュー活動」「メモを取ること」に重点を置いた手厚い指導ができるようにしたい。

4 単元指導計画及び評価規準（4時間扱い）

ア国語への関心・意欲・態度 イ話すこと・聞くこと ウ書くこと エ言語事項

配時	学習内容	指導形態	評価規準	記号
1	話の聞き方を考え、相手の話（レストランのメニュー）を復唱する。	習熟度別少人数	話し手の意図を考えながら、話の内容を的確に聞き取ることができる。	ア
2 ・ 3	インタビュー活動を行い、話の話題や方向をとらえて、適切な情報を聞き出す。	習熟度別少人数	話の話題や要点をおさえ、メモを取ったり、場に応じた質問や答え方をすることができる。	イ、エ
4 本時	電話連絡の場面を想定し、聞き取ったことを別の人へ伝える。	習熟度別少人数	必要なことだけを整理し、簡潔に別の人へ伝えることができる。	イ、エ

5 本時の学習（パワーアップコース・・・国語科少人数教室）

(1) 目標

「電話連絡」の場面において、必要に応じたメモの取り方を理解し、別の人伝えられることができる。

(2) 準備・資料

- ①ワークシート ②補助シート ③メモ用紙 ④電話連絡を文章化した拡大コピー
- ⑤自己評価カード

(3) 展開

学習内容及び活動	支援・指導上の留意点と評価の観点	資料
1 本時の学習課題を確認し、見通しをもつ。 聞き取ったことを伝えよう。	・前時に学習した「メモの取り方」を確認し、本時の学習内容に対する意欲づけを図る。 ・自分がメモしたことを友人に伝えるという体験的な課題にすることで、興味・関心を高める。	
2 練習試合に関する電話連絡①を聞き、必要なことをメモする。 練習試合に関する電話連絡①	・5W1Hを的確に聞き取ることが重要であることを確認してからメモを取ることで、メモの書き方についての理解を図る。 ・ワークシートの見出しを参考に、必要な情報だけを箇条書きさせるようにする。 ・電話連絡①を二度、読み上げることで聞き漏らしがないようにする。	①
3 メモをもとに、情報を伝え合い、メモはどんな書き方をすればよいかについて話し合う。 メモについての話し合い	・メモを取ることができているか確かめ合わせる。 ・ワークシートのメモの内容で足りない情報はないか話し合わせる。 ・5W1H以外にも大切な情報がなかったか十分に考えさせるようにしたい。 ・必要な情報のメモを取ることができている生徒は積極的に称賛したい。	
4 電話連絡②を聞き、内容を聞き取る。 練習試合に関する電話連絡②	・5W1H、箇条書きについて確認し、必要な情報についてメモを取ることができるようする。 ・電話連絡②のワークシートでは見出しをつけず、生徒に必要な情報を考えさせながらメモを取らせる。 ・聞き漏らしがないように、ゆっくり読み上げる。 ・メモが取れない生徒のために、見出しの部分を表示した補助シートを用意する。 ・5W1Hをしっかりとおさえて発表させる。 ・自分で書いたメモを参考に発表することで、聞き取った情報を整理する力を高める。	②
5 電話連絡③、④を聞き、必要なことをメモし、伝言ゲームを行う。 伝言ゲーム	・伝言ゲームのルールを説明し、見通しをもたせる。 ・メモは友人に伝えるために取ることを意識させ、簡潔に要点だけを書かせる。 ・聞き取りを苦手とする生徒には、連絡内容を文章化したもの準備し、メモを取らせる。 ・メモの内容を友人に伝える際には、5W1Hに注意して伝えるようにする。	③
(1) 隣同士ペアをつくる。一方の生徒が、隣の教室で教師からの電話連絡を聞き、メモを取る。 (2) 教室に戻り、メモをもとに連絡内容を友人に伝える。 (3) 交替して行う。 (4) 教師から電話連絡③、④の内容を聞く。	・聞き手は、ただ聞くのではなく5W1Hを意識して聞き取った内容をワークシートにメモをさせる。 ・生徒同士、正しく情報を伝えることができたか話し合い、確認する。	④ ①
6 学習のまとめをする。 7 次時の学習内容を知る。	評 5W1Hを意識して、簡潔にメモを取り、正しく友人に伝えることができたか。 (話すこと・聞くこと、観察・ワークシート)	
	・今日の活動状況や内容の理解について自己評価カードに記入し、本時の学習のまとめをさせる。 ・次時の学習内容を大まかに知ることにより、意欲づけを図る。	⑤

5 本時の学習（ステップアップコース・・・1年4組教室）

(1) 目標

様々な「電話連絡」の場面において、必要に応じたメモの取り方を理解し、別の人伝えれることができる。

(2) 準備・資料

- ①ワークシート ②メモ用紙 ③自己評価カード

(3) 展開

学習内容及び活動	支援・指導上の留意点と評価の観点	資料
1 本時の学習課題を確認し、見通しをもつ。 聞き取ったことを伝えよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習した「メモの取り方」を確認し、本時の学習内容に対する意欲づけを図る。 ・自分がメモしたことを友人に伝えるという体験的な課題にすることで、興味・関心を高める。 	
2 練習試合に関する電話連絡を聞き、必要なことをメモする。 練習試合に関する電話連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・5W1Hを的確に聞き取ることが重要であることを確認してからメモを取ることで、メモの書き方についての理解を図る。 ・生徒に必要な情報を考えさせながら、ワークシートに箇条書きでメモを取らせる。 ・聞き漏らしがないように、ゆっくり読み上げる。 	①
3 メモをもとに、情報を伝え合い、メモはどんな書き方をすればよいかについて話し合う。 メモについての話し合い	<ul style="list-style-type: none"> ・メモを取ることができているか確かめ合わせる。 ・ワークシートのメモの内容で足りない情報はないか話し合わせる。 ・5W1H以外にも大切な情報がなかったか十分に考えさせるようにしたい。 ・必要な情報のメモを取ることができている生徒は積極的に称賛したい。 	②
4 校外学習に関する電話連絡を聞き、内容を聞き取る。 校外学習に関する電話連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・5W1H、箇条書きについて確認し、必要な情報のメモをとることができるようとする。 ・電話連絡で学習した内容を生かし、必要な情報を考えさせながらメモを取らせる。 ・必要なことだけを簡潔に書けるよう、記号や略語などの工夫をさせたい。 ・5W1Hをしっかりとおさえて発表させる。 ・自分で書いたメモを参考に発表することで、聞き取った情報を整理する力を高める。 	②
5 授業変更に関する電話連絡①、②を聞き、伝言ゲームを行う。 伝言ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・伝言ゲームのルールを説明し、見通しをもたせる。 ・メモは取らずに行う。5W1Hを意識して、聞き取った内容を友人に伝える。 ・聞き取りを苦手とする生徒は、重要な単語だけ記録させ、友人に伝える。 ・電話連絡の内容を友人に伝える際には、5W1Hに注意して伝えるようにする。 	②
(1) 隣同士ペアをつくる。一方の生徒が、隣の教室で教師からの電話連絡を聞き、内容を整理する。 (2) 教室に戻り、聞き取ったことをもとに連絡内容を友人に伝える。 (3) 交替して行う。 (4) 教師から電話連絡の内容を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手は、ただ聞くのではなく5W1Hを意識して聞き取った内容をワークシートにメモをさせる。 ・生徒同士、正しく情報を伝えることができたか話し合い、確認する。 <p>評 5W1Hを意識して、適切に内容を聞き取り、友人に伝えることができたか。 (話すこと・聞くこと、観察・ワークシート)</p>	①
6 学習のまとめをする。 7 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の活動状況や内容の理解について自己評価カードに記入し、本時の学習のまとめをさせる。 ・次時の学習内容を大まかに知ることにより、意欲づけを図る。 	③